



北海道造形教育連盟報

No.144 2017.7.1発行

発行 北海道造形教育連盟

会長 阿部時彦 (札幌市立真駒内曙中学校長)

事務局長 東 尚典 (札幌市立有明小学校長)

事務局 札幌市立有明小学校
〒004-0821

札幌市清田区有明141-2

TEL(011)881-2949・FAX(011)881-9074

北造連HP <http://hokuzou.kir.jp>



新たな課題に向け、実践の積み上げを

北海道造形教育連盟

会長 阿部時彦

(札幌市立真駒内曙中学校長)

4月22日に委員総会・研修会が開催され本年度の活動がスタートいたしました。各地区サークルの皆様、会員の皆様には多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年の3月には、新幼稚園教育要領や小中学校の学習指導要領が公示されました。今回の改訂については、「何のために学ぶのか」という学習の意義を学習者も教師もしっかり共有し、「何を学ぶか」「何ができるようになるのか」をより明確にすることで資質・能力の三つの柱「生きて働く『知識・技能』の習得」「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』の涵養」を確実に育むことができるようにしようというものです。そのために「どのように学ぶか」という点から「知識の理解の質を高め資質・能力を育む『主体的・対話的で深い学び』の実現」、すなわち学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けられるよう、学校教育における質の高い学びを実現できるよう授業の改善を目指すものです。

私たちには、造形的な見方・考え方を働かせて『形や色など』『美術や美術文化』と豊かに関わる資質・能力を育成する責務があります。さらに新学習指導要領の図画工作・美術の『目標』には、先に述べた資質・

能力の三つの柱に沿った内容がより具体的に記述されています。今回の改訂においては、『主体的・対話的で深い学び』、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の言葉だけが大きく取り上げられたため本質を見失いそうになりますが、これらのことは、これまでの学校教育で育まれてきたものと異なる全く新しいものということではなく、長年その育成を目指してきた「生きる力」を改めて捉え直していくことです。私たちが造形教育の中で考え、実践してきたことは何も違ってはいないし、今回の改訂により近いところを進んできた実感しています。しかし、それに甘んじるのではなく、より「深い学び」をどのように実現するのかという課題に向け、実践を積み上げることが求められます。

また、校種間連携については、新幼稚園教育要領・新学習指導要領においても幼小は「遊び」、小中は「共通事項」がキーワードになっており、全ての校種にまたがる本連盟の特色を生かした、さらなる研究実践が求められています。

さて、第67回全道造形教育研究大会釧路大会が7月27日に開催されます。新たな課題が提示されている中、多くの皆様にご参加いただき、造形教育の本質を体感し、大会の成果を通して、子ども達の「深い学び」そして「生きる力」の育成に向け、今後の表現、図画工作、美術の実践に活かしていただくことを願っております。

北海道造形教育連盟役員・本部事務局

- 会長 阿部 時彦 (札幌市立真駒内曙中学校長)
- 副会長 小野三枝子 (釧路市立共栄小学校長)
- 副会長 山田 浩人 (江別市立江別第一中学校長)
- 副会長 吉中 博道 (士別市立多寄小学校長)
- 副会長 柿崎 雄二 (函館市立東山小学校教頭)
- 副会長 森長 弘美 (札幌市立前田北中学校長)
- 会計監査 杉山 浩彰 (釧路市立青陵中学校)
- 会計監査 鎌田 俊博 (岩見沢市立明成中学校教頭)
- 事務局長 東 尚典 (札幌市立有明小学校長)
- 会計長 福島由紀子 (札幌市立西岡北小学校教頭)
- 会計次長 八田 博之 (札幌市立富丘小学校)
- 事務局次長 川島 正夫 (札幌市立新琴似小学校)

- 事務局次長 箭内 浩之 (札幌市立みどり小学校)
- 事務局次長 櫻田 悟 (札幌市立緑丘小学校主幹)
- 事務局次長 寺田 実 (札幌市立真栄中学校主幹)
- 事務局次長 平井 歩 (札幌市立啓明中学校)
- 研究部長 湯浅 大吾 (札幌市立三角山小学校)
- 研究副部长 中村 珠世 (北海道教育大学附属札幌小学校)
- 研究副部长 濱口 裕子 (札幌市立石山南小学校)
- 研究副部长 舘内 徹 (札幌市立西岡中学校)
- 研究副部长 石川 早苗 (札幌市立八軒東中学校)
- 庶務部長 森 久根 (札幌市立西野小学校)
- 庶務副部长 黒川 友理 (札幌市立栄西小学校)
- 広報部長 小林 知広 (札幌市立手稲山小学校)
- 広報副部长 佐藤 和音 (札幌市立伏見小学校)



「第67回全道造形教育研究大会 釧路大会」に期待するもの

北海道造形教育連盟

研究部長 湯浅大吾
(札幌市立三角山小学校)

最初に、限られた陣容にもかかわらず、第67回全道造形教育研究大会釧路大会に向けた準備を、高いレベルで進めてこられた大会実行委員会事務局の皆さんに敬意を払いたいと思います。しかし、今大会は、とてもそのような環境の中でつくられたとは思えないほど、研究理論も大会内容も充実しています。なぜ、そのようなことが可能になったのでしょうか。

一つ目としては、基礎作りがしっかりとしていることが挙げられます。3年前の春休み、釧路から大会実行委員会事務局の方々、未だ雪の残る遠路をはるばる札幌の私の勤務校まで来てくださったことがありました。理由は、大会作りに向けて北海道造形教育連盟の研究主題を深く理解すると共に、大会の方向性を相談したいというものでした。わざわざ来ていただいたのに、期待に応えるような話が十分できなかったことを心苦しく感じたことを思い出します。しかし、釧路大会の事務局の方々の真摯な思いに触れ、全力で応援し支えていこうという思いを強くしたことも思い出します。

二つ目としては、大会に向けた釧路の先生方の一体感が挙げられます。昨年の11月、北海道造形教育連盟の研究理論とそれに基づいた授業づくりについて研修会を開催したいとのことで、講師を依頼されたことがありました。やはり限られた人数で会場準備が進められましたが、研修会が始まってびっくり。30名以上の参加者が集いました。参加された方々の多様性を知ってまたまたびっくり。子ども園・小学校・



中学校・高等学校・保育系専門学校の先生方、教育大学の学生、福祉系の一般の方々など、どのように広報したらこのようないろいろな方たちが集まるのだろうと感心したことを思い出します。さらに驚いたのは、その夜開かれた懇親会です。研修会には都合が付けられなかったと、美術館の学芸さんなどさらに多様な職種の方が研修会より多く参加したのです。私を感じたように、事務局の方々の真摯なそして熱い思いに触れ、釧路大会をより良いものにしたいという火種が点から面に燃え広がり、このような熱気溢れる集団となったのだと確信したのです。

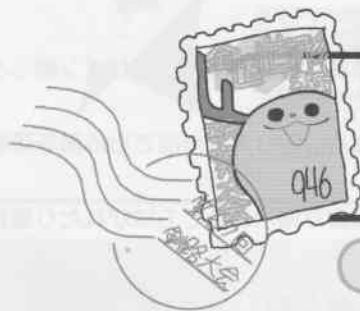
三つ目としては、釧路造形教育研究会の造形教育愛です。少子化による学級減や図工・美術の時数の削減で造形教育に関わる教員の数は減少の一歩を辿っています。それに伴って、各地区の造形教育研究団体の会員の数も減少し、活動が縮小化されていく傾向があります。そんな中、釧路造形教育研究会からは、地元の釧路のみならず根室をはじめ道東全体の連携を図り、けん引していこうという気概を感じます。

以上のことから、繰り返しになりますが私は、釧路造形教育研究会の大会実行委員会事務局の皆さんに敬意を払いたいと強く思うのです。

来る7月27日、「造形教育愛」をもち、北海道の各地区で頑張っている皆さんと釧路の地で会えることを楽しみにしています。



第67回 全道造形教育研究大会 釧路大会



研究主題

わたしをつなぐ造形活動の時間
～想いを豊かに育む造形活動の展開～

期日 7月27日(木)

会場 釧路市立共栄小学校

〒085-0006 釧路市双葉町4番17号 Tel 0154-23-1695

講演

演題

「新学習指導要領とこれからの表現や鑑賞」

講師

国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

岡田京子氏



公開授業・課題別分科会

テーマ	番	学年 学級	題材名	授業者	提言者	助言者
想いを つなぐ	I	年長	ほくたち わたしたちの よしの園の一日	認定こども園よしの 加藤 史 絵 澤原 大	北海道キリスト教学園 湖畔幼稚園 教諭 安田 みゆき	北翔大学 教授 山崎 正明
	II	2年生	ようこそ!光の国へ [造形あそび]	釧路市立鳥取西小学校 若林 亘	厚岸町立厚岸小学校 教諭 中嶋 愛	北海道立教育研究所 企画・研修部 主査 泉 大吾
	III	6年生	ことばから広がる世界 [表現・鑑賞 絵で表す]	釧路市立武佐小学校 日野 道子	日高町立日高小学校 教諭 岩崎 愛彦	北海道教育大学岩見沢校 教授 阿部 宏行
他者と つなぐ	IV	6年生	名画の中に入ってみたら [表現・鑑賞 立体で表す]	釧路市立共栄小学校 高野 恵輔	釧路市立ウトロ義務教育学校 教諭 藤下 昌世	北海道教育大学釧路校 教授 佐々木 宰
	V	1年生	和をつなげよう [表現・鑑賞 デザイン]	釧路市立共栄中学校 橋本 加会	根室市立舞舞中学校 教諭 宮田 玲二	北海道教育大学札幌校 准教授 花輪 大輔
学びを つなぐ	VI	2年生	一步踏み出すための靴 [表現・鑑賞 立体で表す]	北海道教育大学附属釧路中学校 更科 結希	北斗市立浜分中学校 教諭 九千房 政光	札幌大谷大学 准教授 平 向 功
	VII	3年生	「喜・怒・哀・楽」を動かす ～ミニマル・アニメーション～ [映像メディア表現]	北海道釧路江南高等学校 上野 秀実	北海道釧路東高等学校 教諭 竹本 万亀	東海大学 教授 石塚 耕一

8:30 9:00 9:45 9:50 10:10 11:00 12:30 13:30 14:45 15:00 16:00 18:00

受付	公開授業	移動	開会式 全体会	講演 岡田京子氏 (教科調査官)	昼食	授業 分科会	課題別 分科会	移動	参加者交流会 閉会式 釧路プリンスホテル
----	------	----	------------	------------------------	----	-----------	------------	----	----------------------------

第44回 北海道教育美術展のお知らせ

◇作品のご応募をお待ちしています！

幼稚園・保育所・こども園、小・中学校の授業から生まれた作品をお待ちしております。絵画や版画、デザイン画などの作品をご出品ください。

四つ切大の作品を規定(小学生以下)としていましたが、授業時数を踏まえ、高学年は八つ切り大の作品でも応募を可能としました。

近年、貼り重ねたり、開いて見たりするなど、多様な表現の方法が見られます。展覧会で掲示されてもはがれたり破れたりしない作品をご出品ください。

締切(12月中旬)や応募先など詳細は9月頃に各園・各校に送付いたします。

◇審査研修会にご参加を！

全道から集まる2万点近くの作品を見て、そのよさや作品に込められた思いなどを話し合う審査研修会は、造形教育に携わる教師の絶好の研修の機会となります。幼稚園から中学校までの作品を見て、全道各地の先生方と語って研鑽を深めませんか。12月27日(水)28日(木)の日程で行われます。ご都合をつけられ、ぜひご参加ください。

◇展覧会もご来場ください！

奨励賞及び入選作品600点以上を一堂に展示する作品展も、貴重な研修の機会となります。お近くにお越しの際は、ぜひ足をお運びください。

会期 平成30年1月11日(木)~1月14日(日)

会場 道新ぎやらりー及び道新DO-BOX (札幌市中央区大通西3丁目)



旭川市教育研究会図工・美術部

事務局長 吉野 法行

旭川市教育研究会図工・美術部は、今年度は42名の会員で活動しています。4月の総会を経て、今年度の活動内容として、彫刻美術館との共同事業である彫刻巡回出前授業、実技研修会、10月に行われる公開研修会、児童生徒作品展などを基本の活動として計画しています。特に児童生徒作品展は、その前身となる旭川市児童生徒絵画展から含めると50年以上の長きにわたって連続と続いています。

また、平成31年度に全道造形教育研究大会が、道北ブロックにて行われます。それに向けて、先日、第1回の実行委員会が先頃行われました。過去3回



にわたって道北ブロックの大会は、旭教研図工・美術部と上川造形教育研究大会の共同開催という形で行われてきました。今度の第69回大会は、それに新たに留萌も加え、真の意味での道北ブロック大会実現に向けて動いています。前述の通り、旭川も一時期ほどの人数が確保できないような状態になりました。たぶん、各地域においても同じような課題を抱えていく可能性が高くなっていくのではないかと思います。そういう意味においても、今度の大会は1つのマイルストーンになるのではないかと思いますという思いで取り組みを進めています。



あ と が き

4月の委員総会でH29年度の活動がスタートしました。今年度も子どもたちの素敵な笑顔があふれる授業をともに考えたいですね。紙面をリニューアルした連盟報も2年目となり、大会を中心とした研究の推進や教育美術展についてなど、内容の充実に取り組んでいるところです。見やすく伝わる広報作りに努めたいと思います。今月末は、釧路大会です。授業を通して、図画工作・美術教育の価値や子どもたちの資質能力を育む教科であることを、共有したいと思います。

<北海道造形教育連盟 広報部> 佐藤 和音・小林 知広・(櫻田 悟)